

# 静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2010年1月1日から2021年12月31日までに原発性胃癌と診断され、胃切除が施行された患者さん			
②研究課題名	通常型胃癌と比較したAFP産生胃癌の生存転帰の特徴			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2025年12月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	松本陽介	所属	胃外科
⑥当院の研究代表者	氏名	松本陽介	所属	胃外科
⑦使用する検体・データ	血液検査、画像データ、手術データ、病理標本データ、術後経過データなど			
⑧他機関への提供	有（国名、機関名、試料・データ名） ■無			
⑨提供先の責任者	氏名		所属	
⑩目的	AFP産生胃癌は脈管侵襲や肝転移を認めることが多く生存転帰が不良と報告されているが、生存転帰の具体的な特徴は明らかでない。本研究の目的は、AFP産生胃癌と通常型胃癌を比較し、AFP産生胃癌の生存転帰の特徴を明らかにすることである。			
⑪方法	診療録を用いた後方視的な観察研究であり、非介入・無侵襲である。病理所見よりAFP産生胃癌群と通常型胃癌群の2群に分類し、臨床病理学的因子と長期生存成績に関して比較検討する。			
⑫倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年10月14日		
⑬公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑭プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑮知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。			
⑯利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑰資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑱問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長